

教科(科目)	理科 (物理基礎)	単位数	2 単位	学年(コース)	2 学年 (必修)
使用教科書	数研出版 『改訂版 新編 物理基礎』				
副教材等	数研出版 『改訂版 新編 物理基礎 準拠ノート 教科書の整理』				

### 1 学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験を行い、物理学的に探求する能力を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

### 2 指導の重点

- ・日常に起こる物体の運動を観察、実験などを通して探求し、その基本的な概念や法則を理解させ、運動とエネルギーについて基礎的な見方や考え方を身に付けさせる。
- ・様々な物理現象と観察、実験などを通して探求し、それらの基本的な概念や法則を理解させ、物理現象とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を身に付けさせる。

### 3 学習計画

月	単元名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4・5月 中間 6月 期末 7月 9月 中間	第1編 運動とエネルギー	1 運動の表し方	11	定期考査 提出プリント 準拠ノート
		2 運動の法則	13	
		3 仕事と力学的エネルギー	10	
10月	第2編 熱	1 熱とエネルギー	6	
11月 期末 12月 1月	第3編 波	1 波の性質	11	
		2 音	6	
2月 学年末	第4編 電気	1 物質と電気抵抗	6	
		2 磁場と交流	4	
	第5編 物理学と社会	1 エネルギーの利用	2	
		2 物理学が拓く世界	1	

計 70 時間 (50 分授業)

### 4 課題・提出物等

定期考査前に配布した『プリント』および『準拠ノート』を、定期考査ごとに提出してもらいます。

### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物体の運動を様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する家庭を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物体の運動を様々なエネルギーに関する観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物体の運動や様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

### 6 担当者からの一言

定期考査、小テスト、提出物等で総合的に評価する。